

IV 第二部 進学と修学に関する情報・意見交換会 / 支援技術体験会

第二部では、(1)「進学と修学に関する情報・意見交換会」および(2)「支援技術体験会」を、並行して開催した。

(1) 進学と修学に関する情報・意見交換会

情報・意見交換会では、「談話室」と「第3会議室」の2会場を設け、大学における取組の情報提供者1名、ファシリテーター1名が着席するテーブルを6か所(各会場3か所)用意し、参加者が自由にテーブルを行き来できる形式で、情報・意見の交換を行った。

■ 大学における取組の情報提供者

- 以下の、協力大学の各担当者には、各大学での障害学生支援の経験や現状について、話題提供・情報提供いただいた。
 - 日本学生支援機構からは、全国の障害学生支援の現状について情報提供いただいた。
- 山口大学(大学教育センター 小川 勤 教授)
 - 日本学生支援機構(学生生活部特別支援課 小越 真一郎 氏)
 - 広島国際大学(学生支援センター呉学務課 畠本 久司 氏)
 - 県立広島大学(本部教学課 仁田 充俊 氏)
 - 広島文化学園大学(障害学生支援委員会, 健康福祉学科 栗川 隆宏 教授)
 - 広島大学(アクセシビリティセンター 山本 幹雄 准教授)

■ 情報・意見交換会のファシリテーター：

- 「中等教育と高等教育を滑らかにつなぐ、最適な評価方法とユニバーサルな教育・情報支援の研究会」メンバーの以下6名がファシリテーターを務めた。
- 村田 吉弘 校長(広島市立阿戸中学校)
 - 野村 昌子 教諭(広島市立国泰寺中学校)
 - 尺田 慎一 教諭(鈴峯女子中・高等学校)
 - 伊藤 加奈子 教諭(広島中央特別支援学校)
 - 佐野(藤田) 眞理子 教授(広島大学アクセシビリティセンター長)
 - 上田才 節雄 准教授(広島大学入学センター)

■ 情報・意見交換会で取り上げられた主な話題

1. 入試の特別措置に関する話題

<主な話題>

- どのような特別措置があるのか？
- AO入試や推薦入試でも特別措置があるのか？
- 重度の聴覚障害がある場合、リスニング試験の免除は可能か？

<情報・意見の総括>

- 入試における配慮や特別措置対応は、大学入試センター試験の特別措置に準じた対応をとっている大学が多いようです。
- AO入試や推薦入試でも同様の対応が考えられますが、入試の形式が多様であるため、大学入試センター試験とは異なる対応が必要な場合も少なくなく、事前の検討や準備が必要になります。早めに受験したい大学に相談することが必要です。
- 大学入試センター試験では、リスニングを免除する特別措置があります。個別の大学入試でも、大学入試センター試験に準じた対応が取られる場合が多いので、必要と認められれば、リスニング免除などの特別措置も可能だと考えられます。試験の様式などに応じて、適切な対応の検討が必要になるので、いずれにしても早めに受験する大学に相談することが大切だと言えます。
- 広島大学では、原則、願書出願開始日の1週間前までに相談することをお願いしており、点訳など、時間を要するものが含まれる場合は、3週間前までの相談をお願いしています。

2. 入試前の相談に関する話題

<主な話題>

- 事前相談によって有利・不利になることがあるか？
- 事前相談は、在籍している学校を通した方が良いか？
- 入試相談会とオープンキャンパスの違いは？

<情報・意見の総括>

- 試験に有利・不利が生じないようにするための相談なので、安心してまずは相談してほしい。
- 必ずしも学校を通す必要はないが、学校を通した方が、相談がスムーズに運ぶ場合もあります。
- 試験の様式や障害の内容によって、必要な配慮は変わってくるので、まずは相談してほしい。入試相談会では、大学のことで聞きたいことがある時や受験前のちょっとした不明点などの入試のことはもとより、入試資料なども受

け取ることができます。模擬授業や学食体験、サークル見学などはオープンキャンパスでしか行っていません。

3. 入学後の相談に関する話題

<主な話題>

- 入学後、学生生活や授業の取り方について、相談できるところはあるか？

<情報・意見の総括>

- 広島大学のような専門の部署がある大学は、多くはありませんが、一般の学生と同様に、困った場合は、学生課や教務課、チューターの先生などに相談すると良いでしょう。

4. 入学後の授業の取り方に関する話題

<主な話題>

- 授業の取り方の相談に乗ってもらえるか？
- 障害があるため受講できない科目があるか？

<情報・意見の総括>

- 大学職員が、授業の取り方等については説明をしてくれる場合が多いようです。
- 必要であれば、多くの大学で、授業の取り方に関する個別の相談も可能だと考えられます。
- 授業の内容によっては、担当教員と相談する必要もでてきますが、原則、障害を理由に受講を制限はしていないものと考えられます。

5. 入学後の学生生活に関する話題

<主な話題>

- 入学後の学生生活に関するサポートがあるか？
- 食事やトイレなど、生活介助の支援も可能か？

<情報・意見の総括>

- まずは相談してみましよう。教職員や学生の協力が得やすい、支援に前向きな大学も増えてきています。
- 学生ボランティアがいる大学も多いようです。
- 学内における生活介助は、大学が対応を検討してくれます。
- オフキャンパス（学外での日常生活）に関しては、地域や行政との連携、福祉サービスの利用が必要です。大学と地域の双方に相談すると良いでしょう。

6. 今回のセミナーに関する話題

<主な話題>

- 毎年このようなセミナーがあるのか？

<情報・意見の総括>

- 広島大学では、毎年「アクセシビリティセミナー」を公開で開催しています。今回のような形式になるかどうかは分かりませんが、今後も、支援や進学に関する情報交換の場を設けていきたいと考えています。

(2) 支援技術体験会

場所：アクセシビリティセンター

協力：アクセシビリティセンター学生スタッフ 6名（広島大学 学生）

統括：岡田菜穂子（広島大学アクセシビリティセンター特任助教）

■ 支援技術体験

支援技術体験では、以下の支援技術体験コースを用意した。参加者は、アクセシビリティセンター学生スタッフの誘導・紹介に従って、自由にコースを体験。

1. 音声認識体験：音声認識ソフト（Ami Voice®）
2. 拡大・読み上げいろいろ体験：読み上げソフト（zoom text®）
3. 手話体験：（mime hand®）
4. パソコントーク体験：（IP talk®）
5. 点訳体験：自動点訳ソフト（extra®）
6. 支援機器体験：聞こえに関する支援機器（赤外線補聴システム、携帯補聴器）

■ 大学生活についての情報提供

参加者とアクセシビリティセンター学生スタッフとの対話形式で、大学生活についての情報提供を行った。